

広島大学学術情報リポジトリ

Hiroshima University Institutional Repository

Title	普及・教育・研究活動報告（2019年度）
Author(s)	広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門,
Citation	広島大学埋蔵文化財調査研究紀要 , 12 : 83 - 96
Issue Date	2021-03-31
DOI	
Self DOI	
URL	https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00050707
Right	
Relation	



普及・教育・研究活動報告（2019年度）

1. 2019（平成31・令和元）年度の普及活動

1) 展示・情報公開

a. 埋蔵文化財調査部門サテライト館の公開

埋蔵文化財調査部門では、総合博物館サテライト館のひとつとして展示室を整備し、構内遺跡で出土した資料を中心に展示公開を行っている。2019年度の来館者は339名（前年比0.69）であった（2007年5月のリニューアルオープンからの延べ来館者7,097名）。4月に教養ゼミで広大学生14名、5月はフィリピンからの大学見学の高校生25名、8月は親と子の体験歴史村で56名、オープンキャンパスで36名、11月は博物館実習で32名の多数の来館者があった。2020年3月4日からはコロナウィルス感染症のため、休館となった。

b. 刊行物

『広島大学埋蔵文化財調査研究紀要』第11号（2020年3月刊行）

埋蔵文化財調査部門の研究および調査の成果と普及活動の年度報告を発信するもので、研究編には「霞地区および広島湾沿岸域の出土貝類とその利用」、調査編には「開発に伴う協議と立会・試掘調査の概要（2017・2018年度）」、普及・教育・研究活動報告編には「普及・教育・研究活動報告（2017・2018年度）」、付編には「総合博物館埋蔵文化財調査部門の組織（2017・2018年度）」が収められている。



第28図 紀要11の表紙



第29図 紀要11の目次

『HUM-HUM』 Vol.12 への寄稿 (2019年7月発行)

広島大学総合博物館のニューズレターに、活動報告として第13回企画展・平成30年度東広島市出土文化財企画展「大学と埋蔵文化財～キャンパスの遺跡・発見された文化財の魅力～」について、またイベントピックアップとしてフィールドナビ「キャンパスの遺跡と自然探検隊」とワークショップ「埋蔵文化財講座～土器づくり・土器焼き～」の報告を行った。さらに、お宝紹介コーナーに「埋蔵文化財調査部門の所蔵資料」を、また「東アジアの旧石器時代研究」として藤野による石器研究を紹介した。

『大学と埋蔵文化財～キャンパスの遺跡・発見された文化財の魅力～』(2019年8月発行)

2018年度に東広島市教育委員会と共催によって実施した企画展では、全国の15大学における構内遺跡の調査・研究について紹介し、広島大学の資料に加えて近県7大学の貴重な出土資料を展示した。大学が取り組む埋蔵文化財調査と研究、また文化財保護活用の取り組みの意義について、企画展にとどまらず、これから先も多くの方々に理解と関心を深めてもらうため、企画展で使用した情報をもとに、各大学の取り組みと成果を1冊にまとめて刊行した。企画展の準備・開催および本書の編集過程において、各大学との有意義な情報交換ができたこと、また、各大学の協力によってこれまでの大学埋文の歴史や遺跡の特徴、調査の概要、構成員の研究成果を記録として残すことができたことが、今後何らかの契機となることを願う。



第30図 「大学と埋蔵文化財」表紙



第31図 広大埋文紹介ページ

c. Facebook・ホームページ更新

調査部門ではFacebookとホームページにおいて活動報告や構内遺跡等の情報を公開している。2019年度も引き続き運用した。

2) 調査資料および遺跡の整備・管理

a. 東広島地区：鏡西谷遺跡芝張り整備

実施面積：約 140 m²

実施期間：2019年4月8日・12日、10月30日・31日、11月1日・5日・20日・21日、2020年2月13日

委託業者：株式会社 森商、株式会社 堀内造園

実施内容：東広島地区の鏡西谷遺跡（保存区）における、法面保護のための芝張り整備を実施した。2016年度から整備を開始し、本年が4年目にあたる。

初年度は、遺跡保存区の南東隅にあたるD地区の約 250 m²において作業を実施した。遊歩道を挟んだ南側には鏡東谷遺跡から移築した横穴式石室があり、その北側周辺から遊歩道の内側にかけて、ティフブレア種子と肥料が混入されたシート（幅 1 m × 10 m / 本）を 20 本敷き詰める方法を選択した。次年度は、その北側においてティフブレアのピット苗を移植する方法で実施した。調査部門前庭においてピットトレー約 20 枚に種子を蒔き、定期的に水やりを行って 10 ～ 15cm に育った苗を現地に移植した。さらに、2018年度は、ピット苗を前年同様に調査部門前庭で育成させた後に、F地区にピット苗移植の方法で約 52 m²の範囲で作業を実施した（写真 35・36）。

本年は、昨年度実施した場所の南側約 140 m²の範囲で実施した。これまでの方法から本遺跡地での有効な芝張りを検討すると、施肥や水やりの難しさから種子から根付かせるのは難しいと考えられた。一方、ピット苗は根付きもよく有効であったが、移植の手間と1年で実施できる範囲が狭く効率が良くないため、今回はすでに根が張っている 30 × 35cm の芝シートを敷設する方法を試行した。

また、芝移植においては、多少なりとも遺跡地表面の掘り返しが必要となるため、掘削の必要がないように法面保護の盛り土を用意した（写真 37）。盛土には、土壌改良用ミネラル樹肥熟成バーク堆肥（FOREX トーリン）と農林園芸用土壌改良ネニサンソ防散 2 号を混合し、実施範囲におおよそ 1 ～ 2cm の厚さで敷き詰めた。その上に芝シートの位置を半分ずらしながら配列し（写真 38）、竹製の目串で地面に固定した（写真 39 ～ 41）。

また、140 m²分のシートを全体に敷き詰めた後に、芝の頭と同じ厚さになるよう盛土で覆い（写真 42）、さらに粒状の肥料をまき（写真 43）、表面をたたき締めて作業を終了した（写真 44）。



写真 35 2018年度実施の様子1(北より)



写真 36 2018年度実施の様子2(南より)



写真 37 盛土搬入の様子(南より)



写真 38 芝シート敷設の様子1(北西より)



写真 39 竹串による芝シート固定の様子



写真 40 芝シート敷設の様子2(北より)



写真 41 敷設作業の様子（北より）



写真 42 敷設後盛土の様子（北より）



写真 43 整地および施肥の様子



写真 44 作業完了後全景（南より）

b. 東広島地区：保存区の草刈り整備

毎年、東広島地区の遺跡保存区では、東広島市シルバー人材センターに依頼して草刈りを実施している。鏡西谷遺跡、西ガガラ遺跡第1地点、山中池南遺跡第2地点の草刈りを、以下の日程で実施した。

鏡西谷遺跡 2019年11月8日、2020年3月12日

山中池南遺跡第2地点・西ガガラ遺跡第1地点 2020年3月25～27日

c. 東広島地区：基準杭の設置

実施期間：2020年3月22日～28日

委託業者：キュートク 株式会社

実施内容：東広島キャンパスののががら地区において基準杭を設定した。

3) 遺跡・遺物の整理・貸出利用等

a. 遺物の整理

本年度の遺物整理として、以下の作業を行った。

- ① 2019 年度立会調査関係図面の整理
- ② 立会調査出土資料の洗浄、ナンバリング、接合、データ入力、収蔵等
- ③ 霞地区出土貝類の分析・整理
- ④ 鴻の巣南遺跡、鴻の巣遺跡、陣が平西遺跡、山中池南遺跡第 2 地点、ぶどう池南遺跡第 1 地点、ぶどう池南遺跡第 2 地点、鏡西谷遺跡、鏡東谷遺跡のプリント (L: 2L 版) 写真の整理
- ⑤ 山中池南遺跡第 2 地点 1 号住居跡および須恵器焼成窯跡灰原採取土資料からの鍛造剥片等の鍛冶関連微細遺物の抽出作業

b. 資料の貸し出し・利用

今年度は以下の利用があった。

① 平木池遺跡出土石鏃の貸出

2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日 借用者：広島県立歴史博物館

② 広島大学霞地区広島陸軍兵器補給廠(支廠) 関連遺構写真(スライド) の借用

2019 年 10 月 26 日～10 月 27 日 使用者：藤野次史(広島大学)

③ 西ガガラ遺跡第 1 地点、同第 2 地点出土旧石器時代遺物の見学

2019 年 12 月 2 日 見学者：三好元樹(志摩市教育委員会)

④ 西ガガラ遺跡第 1 地点、同第 2 地点、冠遺跡D 地点出土旧石器時代遺物の見学

2019 年 12 月 10 日～12 月 14 日 見学者：中村由克(明治大学)

⑤ 丸山神社古墳出土壺形埴輪の見学

2020 年 1 月 20 日 見学者：下江裕貴(広島大学文学研究科院生)

⑥ 冠遺跡D 地点出土旧石器時代遺物の見学

2019 年 3 月 2 日～3 月 3 日 見学者：中村由克(明治大学)

4) 遺跡と遺物の利活用・社会貢献・普及教育活動

a. 親と子の体験歴史村(開催日：2019 年 8 月 3 日)

東広島市との共催による「第 35 回親と子の体験歴史村」を開催した。共催として実施する 10 回目となる。午前中は、体験その 1 として鴻の巣南遺跡と部門展示室を

交互に見学し、その後、体験その2として土器づくりを行った。午後は、体験その3として総合博物館見学と火おこしを交互に体験し、最後に体験その4として勾玉づくりを楽しんだ。参加者は48名であった。



写真 45 熱心に説明を聞く参加者の様子



写真 46 土器づくりの様子



写真 47 火おこしの様子



写真 48 勾玉づくりの様子

b. 公開講演会（開催日：2020年2月15日）

総合博物館の第70回公開講演会として、藤野次史教授（埋蔵文化財調査部門長）の退職記念講演会を行った。講演会では、埋蔵文化財調査部門の前身組織である埋蔵文化財調査室の設置の経緯や広島大学の遺跡・遺物の紹介、本学の博物館活動との関わり、これまで40年以上にわたる考古学研究の成果などについてお話しいただいた。講演後は、講師によるキャンパス内の遺跡を解説する見学会が行われた。

c. その他

埋蔵文化財調査部門における活動として、そのほかに東広島市教育委員会生涯学習課より依頼を受けた出前講座等がある。これらの成果については以下の個別活動成果で報告する。

2. 2019（平成 31・令和元）年度の教育活動

1) 学芸員資格取得特定プログラム

藤野次史 学芸員資格取得特定プログラム関連

博物館概論 A

博物館概論 B

博物館経営論

博物館資料論 A（自然系）（1.5 回分を担当）

博物館資料論 B（人文系）（2.5 回分を担当）

博物館実習 1（8 回分を担当）

博物館実習 2

2) 教養教育

藤野次史 東広島キャンパスの自然環境管理（1 回分担当）

3. 2019（平成 31・令和元）年度の個別活動成果

《藤野次史》

（著書・論文・成果報告）

藤野次史・青木孝夫・清水則雄・菅村 亨・本多博之・山口富美夫・山崎博史・吉田将 2019 年 12 月「広島大学における学芸員資格取得特定プログラム新課程の実施と課題」『広島大学総合博物館研究報告』第 11 号

藤野次史・石丸恵利子 2020 年 3 月「開発に伴う協議と立会・試掘調査の概要（2017・2018 年度）」『埋蔵文化財調査研究紀要』第 11 号、広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門

石丸恵利子・藤野次史 2020 年 3 月「普及・教育・研究活動報告（2017・2018 年度）」『埋蔵文化財調査研究紀要』第 11 号、広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門

(研究発表・講演・講座)

藤野次史・中村由克・稲村秀介・沖憲明 2019年5月19日「旧石器時代の地域石材研究—高田流紋岩類を中心として—」日本考古学協会第85回大会・研究発表 会場：駒沢大学 口頭発表

野崎貴博・藤野次史・吉田 広 2019年5月19日「2018年西日本豪雨による中四国地方の文化財被害」日本考古学協会第85回大会・研究発表 会場：駒沢大学 口頭発表

藤野次史 2019年6月23日「2018年度の広島県における埋蔵文化財調査・研究と課題」日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会2019年度第1回中国地区連絡会 会場：岡山大学 口頭発表

中国地区連絡会（藤野次史・野崎貴博・古賀信幸・会下和宏・高田健一）2019年10月26日・27日「中国地区連絡会の活動」日本考古学協会2019年度岡山大会 会場：岡山大学 ポスター発表

石丸恵利子・佐藤大規・清水則雄・梅本健治・藤野次史・大塚 攻・浅野敏久 2019年6月27・28日「日本列島15大学の連携と埋蔵文化財資料の活用—企画展「大学と埋蔵文化財」を通して—」大学博物館協議会2019年度大会・第14回日本博物館科学会 会場：秋田大学大学院国際資源学研究科附属工業博物館 口頭発表

Eriko Ishimaru, Norio Shimizu, Taiki Sato, Tsugifumi Fujino and Toshihisa Asano, Hiroshima 2019.9.3, Japan *The university museum works on the utilization and prospects of buried cultural properties on campus*, ICOM Kyoto 2019, 25th General Conference, Kyoto International Conference Center, poster presentation

Toshihisa Asano, Norio Shimizu, Taiki Sato, Tsugifumi Fujino and Eriko Ishimaru 2019.9.4, *Japan Conservation and utilization of local heritage by Kamo plateau eco-museum, Higashi-Hiroshima city in Japan*, ICOM Kyoto 2019, 25th General Conference Inamori Memorial Hall, poster presentation

藤野次史 2019年12月25日～28日 愛媛大学集中講義（考古学特論Ⅰ）

藤野次史 2020年2月8日「旧石器時代における石器群の地域性と石器石材—中・四国地方を中心に—」第36回中・四国旧石器文化談話会 会場：岡山理科大学 口頭発表

藤野次史 2020年2月14日「考古学研究と博物館」藤野次史教授退職記念公開講演会 会場：広島大学文学部リテラ

(外部資金・共同研究)

科学研究費 基盤研究 (C) 課題番号 18K01066 「旧石器時代における石材獲得戦略
の研究―地域石材からの視点を中心として―」 研究代表者

(その他：依頼・協力・資料調査・参加など)

広島歴史資料ネットワーク代表

運営委員会 広島大学 2019年4月19日

総会 広島市広島県文書館 2019年5月15日

広島市発掘調査指導委員

会議 (公財) 広島市文化財団文化財課 2019年5月23日

(公財) 広島県教育事業団評議委員

評議会 広島県立体育館 2019年6月19日

(公財) 広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室調査指導員

会議 (公財) 広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室 2019年7月8日

調査指導 福山市鞆港湾遺跡ほか 2019年9月20日

調査指導 三次市箱山第1・2号古墳 2019年12月4日

広島県文化財保護審議会委員

現地調査 福山市松本古墳 2019年6月21日、2020年3月6日

審議会 広島県庁 2019年8月26日

現地調査・会議 安芸国分寺跡、東広島市東西条地域センター 2020年3月13
日

日本考古学協会埋蔵文化財保護対策委員会全国委員・中国地区連絡会代表幹事

全国委員会 駒澤大学 2019年5月17日

中国地区連絡会 岡山大学 2019年6月23日

情報交換会 岡山大学 2019年10月27日

京都府上野遺跡発掘調査指導 (公財) 京都府埋蔵文化財調査研究センター 2019年
11月25日

庄原市博物館・資料館運営協議会委員

協議会 庄原市埋蔵文化財センター 2020年2月17日

日本旧石器学会会計監査委員

総会 (会計監査報告)・第17回研究発表シンポジウム 大正大学 2019年6月

29日

中・四国旧石器文化談話会代表

幹事会・第36回大会 岡山大学 2020年2月9日

たたら研究会編集委員

編集委員会 広島大学 2019年11月15日、11月20日

岩国市文化財審議委員

西条盆地周辺石器石材分布調査

東広島市安芸津町 藤野・沖憲明・稲村秀介 2019年4月28日

東広島市福本ほか 藤野 2019年8月17日

呉市広、東広島市郷原町 藤野 2019年10月13日

呉市広、東広島市郷原町ほか 藤野・中村由克・稲村 2019年12月12日

広島市広島県埋蔵文化財調査室 藤野・中村・沖・稲村 2020年3月4日・5日

神奈川県子易・中川原遺跡、秋山上遺跡出土旧石器時代資料の見学

伊勢原市（公財）かながわ考古学財団発掘現場 藤野 2019年5月16・17日

大阪府群家今城遺跡出土旧石器時代石器群の調査

京都市古代学協会 藤野 2019年9月7日

《石丸恵利子》

（著書・論文・成果報告）

石丸恵利子編 2019年8月『大学と埋蔵文化財～キャンパスの遺跡・発見された文化財の魅力～』広島大学総合博物館

石丸恵利子 2019年11月「本町二丁目遺跡出土の動物遺存体」『都市計画道路事業富士見町線に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 本町二丁目遺跡』香川県教育委員会

石丸恵利子 2020年3月「動物遺存体の分析」『名勝平和記念公園内遺跡 広島平和記念資料館本館下地点－広島市中区中島町所在－』公益財団法人広島市文化財団

石丸恵利子 2020年3月「古代人の暮らしを解き明かす同位体分析－海産魚はどこの海から運ばれたのか？－」『同位体環境学がえがく世界』2020年版、総合地球環境学研究所

石丸恵利子 2020年3月「震地区および広島湾沿岸域の出土貝類とその利用」『埋蔵文化財調査研究紀要』第11号 広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門

石丸恵利子・藤野次史 2020年3月「普及・教育・研究活動報告(2017・2018年度)」『埋蔵文化財調査研究紀要』第11号 広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門
藤野次史・石丸恵利子 2020年3月「開発に伴う協議と立会・試掘調査の概要(2017・2018年度)」『埋蔵文化財調査研究紀要』第11号 広島大学総合博物館埋蔵文化財調査部門

(研究発表・講演・講座)

石丸恵利子・申 基澈・信里芳紀・富井 眞 2019年6月2日「Sr-Nd-Pb 安定同位体比分析による先史土器の粘土産出地推定の試み」日本文化財科学会第36回大会、会場：東京藝術大学 ポスター発表 *日本文化財科学会第13回ポスター賞

石丸恵利子 2019年6月15日「中国・四国地方における近世遺跡の動物資源利用について」日本動物考古学会第7回大会 会場：千葉市生涯学習センター ポスター発表

石丸恵利子・佐藤大規・清水則雄・梅本健治・藤野次史・大塚 攻・浅野敏久 2019年6月27・28日「日本列島15大学の連携と埋蔵文化財資料の活用—企画展「大学と埋蔵文化財」を通して—」大学博物館協議会2019年度大会・第14回日本博物科学会 会場：秋田大学大学院国際資源学研究科附属工業博物館 口頭発表

Eriko Ishimaru, Norio Shimizu, Taiki Sato, Tsugifumi Fujino and Toshihisa Asano, Hiroshima 2019.9.3, Japan *The university museum works on the utilization and prospects of buried cultural properties on campus*, ICOM Kyoto 2019, 25th General Conference, Kyoto International Conference Center, poster presentation

Toshihisa Asano, Norio Shimizu, Taiki Sato, Tsugifumi Fujino and Eriko Ishimaru 2019.9.4, *Japan Conservation and utilization of local heritage by Kamo plateau eco-museum, Higashi-Hiroshima city in Japan*, ICOM Kyoto 2019, 25th General Conference Inamori Memorial Hall, poster presentation

石丸恵利子・申 基澈・信里芳紀・富井 眞 2019年12月20日「Sr-Nd-Pb 同位体分析による生駒西麓産土器の粘土産出地の検討」第9回同位体環境学シンポジウム、会場：総合地球環境学研究所 口頭・ポスター発表

石丸恵利子 2019年7月14日「環境考古学の話—食環境や動物資源利用を中心として—」東広島市教育委員会生涯学習課 生涯学習まちづくり出前講座 会場：広島

史学総合博物館埋蔵文化財調査部門

石丸恵利子 2019年8月4日「科学研究における標本の役割」国立研究開発法人科学技術振興機構「2019年度グローバルサイエンスキャンパス」事業第5期ステップステージ第2回セミナー、会場：広島大学教育学部L202講義室

石丸恵利子 2019年9月22日「動物考古学って何？－昔の人は何を食べたのか？どんな動物がいたのか－」「同位体分析って何？－私たちの身体は食べたものでできている－」ひらめき☆ときめきサイエンス令和元年プログラム「動物考古学って何？～遺跡の動物骨や貝殻から昔の暮らしを科学によって解き明かす～」会場：広島大学東広島キャンパス（教育学部C棟C108実験室）

石丸恵利子 2019年10月19日「広島城の食環境と動物との関わり」牛田公民館講座「広島考古学よもやま話」浅野氏広島城入城400年事業、会場：広島市東区牛田公民館

石丸恵利子 2019年12月6日「近代日本の技術・文化・暮らしを出土遺物から学ぶ」東広島市生涯学習まちづくり出前講座、会場：東広島市芸術文化ホールくらら

石丸恵利子 2020年1月13日「遺跡の骨を科学する」大人の科学談話室、会場：5-Days こども文化科学館

石丸恵利子 2020年1月24日「文化財保護と失われた環境・暮らしについて」東広島市教育文化振興事業団中央生涯学習センター活動事業令和元年度「連続講座 遺跡で語る私たちの歴史」会場：東広島市芸術文化ホールくらら

(外部資金・共同研究)

科学研究費 挑戦的研究（萌芽） 課題番号 18K18527「土器胎土のSr-Nd-Pb同位体分析による古代土器製作圏と流通圏の解明」研究代表者

科学研究費 研究成果公開促進費：研究成果公开发表B（ひらめき☆ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～KAKENHI）課題番号：HT310190「動物考古学って何？～遺跡の動物骨や貝殻から昔の暮らしを科学によって解き明かす～」実施代表者

科学研究費 基盤研究（A） 課題番号 18H03593「考古学・人類学・文化財科学の学際的研究における縄文社会論の再構築」研究分担者（研究代表者：山田康弘）

科学研究費 基盤研究（C） 課題番号 16K02042「発掘人骨の古病理学的ストレスマーカーに見える性別役割」研究分担者（研究代表者：岡本（藤澤）珠織）

平成 31 年度総合地球環境学研究所「同位体環境学」（一般共同研究）「遺跡出土動物
遺存体と人骨の同位体分析による生業形態と食環境の解明および環境データの構
築」研究代表者

（その他：依頼・協力・資料調査・参加など）

日本動物考古学会『動物考古学』編集委員

考古学研究会 常任委員

常任委員会 岡山大学 2019 年 6 月 8 日、7 月 13 日、10 月 12 日、11 月 9 日、
2020 年 1 月 11 日、2 月 8 日

考古学研究会第 65 回総会・研究集会

参加 岡山大学 2019 年 4 月 20 日・21 日

考古学研究会岡山例会 岡山大学

運営・参加 第 550 回 6 月例会 2019 年 6 月 8 日、第 551 回 7 月例会 2019 年
7 月 13 日、第 553 回 10 月例会 2019 年 10 月 12 日、第 554 回 11 月例会、2019
年 11 月 9 日、第 556 回 2 月例会 2020 年 2 月 8 日

日本考古学協会 2019 年度岡山大会

参加 岡山大学 2019 年 10 月 27 日

考古学研究会岡山例会第 22 回シンポジウム「考古学から考える災害と文化財保護」

運営・参加 岡山大学 2020 年 1 月 11 日

若宮谷遺跡発掘調査に係る出土動物遺存体遺物の指導

公益財団法人松江市スポーツ・文化振興財団 2020 年 1 月 31 日

土器胎土の分析（科研費：研究代表者）に係る調査・研究打合せ・実験作業等

京都大学文化遺産学人文知連携センター 2019 年 5 月 7 日、11 月 25 日・26 日

総合地球環境学研究所 2019 年 7 月 30 日、2019 年 12 月 23 日～27 日

岡山大学 2019 年 10 月 27 日

東大阪市教育委員会ほか 2019 年 11 月 13 日・14 日

坂出市・高松市ほか 2020 年 1 月 25 日

縄文社会論の再構築（科研費：研究分担者）に係る調査・研究打合せ等

国立歴史民俗博物館ほか 2019 年 7 月 20～22 日

國學院大學居家以岩陰遺跡発掘調査現場見学 2019 年 9 月 5 日